

令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年3月5日
函館市立南茅部中学校

1 本年度の重点教育目標

函館・南茅部地域を愛し、自ら課題に挑み、未来を拓く生徒

2 本年度の取組の重点

自ら課題をもち、主体的に粘り強く活動しながら、地域の未来を担う子どもたちの育成

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分 野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達 成 状 況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
学校運営	地域や保護者の願いをふまえ、地域の特色を生かした教育活動を工夫するとともに積極的な情報発信をすることができたか。	a	・概ね達成はできているがさらに地域や保護者との連携・協働を図っていききたい。	A	A	ICT化、ペーパーレス、Webによる情報発信は改善が見られます。
学習指導	基礎的・基本的な知識・技能の習得し、すべての生徒が学びの楽しさを実感して、活躍できる授業づくり、および校内研修の深化に立った授業改善ができたか。	b	・授業改善を図りながら、教職員の授業スキルを上げ、よりよい授業を目指していきたい。	B	B	一層の学習指導をお願いします。
生徒指導	支持的風土が醸成された学級づくりが推進され、いじめの未然防止、校内体制の整備、および推進の充実を図ることができたか。	b	・学級づくりや教師との相談機会を増やし、いじめ未然防止や早期発見、迅速に適切な対応等の校内体制を充実させていきたい。	B	B	登校できていない生徒の家族にも寄り添ってあげられると良いと思います。
ふるさと・キャリア教育	函館・南茅部地域に愛着と誇りを持ち、地域の未来を担う子どもたちを育成することができたか。	a	・1年生時は縄文学習を中心に、2年生時は昆布に関する学習を中心に行った。3年生時では修学旅行での昆布親善大使の活動を進めることができた。	A	B	地域学の充実のため講師等の連携（活用）を進めてほしい。
健康・安全教育	安全に留意するとともに、体力の向上や健康的な生活習慣を確立することができたか。	b	・概ね達成はできていたが、日々の生活習慣の確立に向け、保護者との連携を深めていきたい。	A	A	
地域や家庭と連携した取組	学ぶことの意義を実感し、一人ひとりの資質・能力を伸ばす教育環境の整備のための小中一貫教育の推進、学校運営協議会による協力・協働体制の構築を図ることができたか。	b	・学校運営協議会の開催を含め、関係機関と連携した取り組みを徐々に進めることができた。今後、更に連携を強化していきたい。	A	B	地域として、学校行事への参加など推進してほしい。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。